

令和8年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請関係様式

●令和8年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施 自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和8年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、 令和7年度における取組の評価・分析を 踏まえた取組	本事業で達成する目標 （アウトカム）	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 （事業における成果、課題、改善点等）
063011_山 辺町	②学校と地域 の課題	05 その他	・中学生社会体験学習において、事業担当教員の業務負担軽減が課題となっている。 ・中学生社会体験学習への協力事業所の減少。	・コーディネーターが学校と地域の連絡調整等を担い、教員の業務負担軽減を図る。 ・中学生社会体験学習に協力事業所の参加数増加のため、継続して呼びかけを続け、体験学習の重要性について周知していく。 ・声掛け等を行っていない事業所への働きかけを行う。	・声掛け等を行っていない事業所への働きかけを行う。	協力事業所の十分な確保が進むことにより、中学生の地域との関わり、責任を持って仕事を成し遂げる達成感を得ることにつながるだけではなく、コーディネーターがこれまで教員が行ってきた調整業務を行うことで、教員の働き方改革にもつながる。	中学生社会体験学習への協力事業所件数	43	件	50		

記載不要

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。